

～教員インタビュー（利島編）～

利島村立利島小中学校 教諭

1 島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

これまで特別支援学級で勤務してきました。もっと多くの経験を積みたく、通常学級への異動を決意したとき、「どうせなら思い切ったことをしよう」と思うようになり、島への赴任を考え始めました。息子が小学校入学のタイミングだったこともあり、家族みんなで特別な体験ができると考えたことも大きいです。

2 児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

人数が少ないからこそその良さがあり、課題があります。子どもたちと一緒に悩み、考え、学ぶことでお互いに成長できる環境だと捉えています。

3 島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

生活環境です。美しい自然と優しい地域住民に囲まれ、子どもたちはのびのび学びを深めています。子どもたちは、草木や虫、魚の知識が豊富でたくさん教えてくれます。教師としての関係だけではなく、地域住民としても児童・生徒・保護者と関わります。私の場合は、教員であり、保護者でもあります。はじめは違和感がありましたが、すぐに慣れました。

4 仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

色々と不安はありましたが、引っ越しの荷物が片付く頃にはだいたいのことは解消されました。不便ですが、不自由ではないです。島から出たり、島に戻ったりするのは、思った以上に天候に左右されます。毎日、風や波の予報を見て研究しています。

5 島だからできたことがあれば教えてください。

他の島との合同行事があること。その行事を通して、他の島にも詳しくなり、つながりをもてることです。

6 日常生活での買い物はどうしていますか。

インターネットを最大限活用しています。今のところ「荷物が届かなくて困る」などということはありません。

7 休日は、何をして過ごしていますか？

家でのんびりしたり、家族で海や山に行ったりしています。地域の同好会に参加もしています。平日の夜に、野鳥の観察や光るキノコ探しにも行きました。今後は、釣りや海水浴、別の島に遊びに行くことも計画しています。

8 島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

子どもたちが、利島を愛していることです。利島のことを聞くと、聞いていないことも一生懸命話してくれます。地域の大人がこの島を愛し、子どもたちに伝えているからだと思います。

9 島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

自然の中で生活することで、大人も子どももののびのびと学びに向き合えることです。

10 島への赴任を検討している方に一言お願いします。

「いつか行ってみたい」と思っている方、「今がその時です」。「生活が大変になる」などの細かいことは後で考えると良いと思います。私の場合は息子の成長を間近で見ることができます。不安もありましたが、素敵なお兄さん、お姉さん、同級生に囲まれてしっかり居場所を作っています。息子の授業を担当する、行事に出かけたら船が欠航で帰れないなど、内地では「ありえないこと」が起こるのが島の魅力です。